

A区分・C区分共通

No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃびーしゃんぶるうえすと 株式会社B.シャンブルウエスト	団体ウェブサイトURL https://www.chambreouest.com/	
代表者職・氏名	代表取締役 今村博明		
制作団体所在地	〒 192-0902	最寄り駅(バス停)	JR中央線 八王子駅
	東京都八王子市上野町104-16		
電話番号	042-624-4037		
ふりがな 公演団体名	バレエシャンブルウエスト	団体ウェブサイトURL https://www.chambreouest.com/	
代表者職・氏名	総監督 今村博明		
公演団体所在地	〒 192-0902	最寄り駅(バス停)	JR中央線 八王子駅
	東京都八王子市上野町104-16		
制作団体 設立年月	2011年6月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	総監督 今村博明 芸術監督 川口ゆり子 事務局 野口桃子 バレエミストレス 東松由香里	団体所属約70名 オーディションによりプロフェッショナルな技術を持ったダンサーが年間を通して舞台を上演し、若手から経験豊かなダンサーまで人材豊富に所属。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	野口桃子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	金田一順子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	m-noguchi@chambreouest.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1989年 今村博明川口ゆり子により八王子ユースバレエを設立 1992年 ユースバレエシャンブルウエストと改名 1995年 文化庁芸術祭大賞「天上の詩」を機にバレエシャンブルウエストと改名。 2001年 第1回海外公演をボリショイ劇場、エストニア歌劇場、キエフのシェフチェンコ劇場で開催 2004年 サンクトペテルブルグ建都300年事業に参加。第2回海外公演。 2011年 株式会社B. シャンブルウエストを設立。公演団体としての充実を図る。 2005年 舞踊批評家協会賞受賞 平成9年度14年度に2度目の文化庁芸術祭大賞を受賞。「タチャーナ」 平成24年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。「ルナ」 2011年の東日本大震災後は被災地を24日にわたり巡演。岩手宮城福島の23都市27カ所で慰問公演を開催。以降東北地方の巡演公演を3年にわたり継続した支援を行う。ボランティア活動にも力を注ぐ。 平成2年より始まった清里フィールドバレエは我が国唯一の長期や野外バレエ公演として評価を得今年で35回目を迎えた。 大牟田市、八王子市、東京都、文部科学大臣からの文化功労表彰を受ける。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>団体の地元八王子市の各学校で公演、団員の出身校である津久井第1小学校、福岡県立三池高校にてバレエ公演と共に講演も行うほか 2011年東日本大震災では東北3県27都市の避難所を23日間にわたり避難施設の学校等で慰問公演を行い、翌2012年2013年は被災地の小中学校をまわり団体独自の慰問公演を行った。 平成25年度から令和6年度まで「文化芸術による子供育成総合事業」を担当し全国で多くの小中学校で上演実績があります。</p>			
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>平成25年「次代を担う子供の文化芸術体験事業」にて愛知県豊橋養護学校で公演。 初めての特別支援学校での開催であったが、学校との細かな打ち合わせを重ねて各生徒の状況を把握し個々に対応することができ、障害があっても舞台共演をすることができました。 本公演終了後には学校側の希望で生徒との交流の場を設け大変喜ばれた。 平成30年「文化芸術による子供育成総合事業」では三重県立聾学校で公演。 事前にワークショップ、本公演の進行内容を文書で提出し、学校独自の方法での事前学習など準備を進め当日もスムーズに全生徒が鑑賞することができた。 35年間上演している清里フィールドバレエの野外バレエ公演には、知的発達障害者の自立や社会参加を目的としているスペシャルオリンピックスに所属する障害者の方、家族を毎年招待しバレエ上演後には交流会を行っている。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/N6kR4glRJKg</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 バレエシヤンプルウエスト】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	初めての舞台芸術 バレエくるみ割り人形を体験しよう			
企画のねらい	こどもたちにとって初めての舞台芸術と触れる機会になる学校巡回公演で分かりやすく親しみやすい「くるみ割り人形」を選びました。耳なじみの多いくるみ割り人形の曲を聞きながら総合芸術の世界へこどもたちを導きます。大きな動きのあるダイナミックな振付、繊細な振付を映像ではなく、目で見て体感してもらい舞台芸術のバレエに触れてもらいたと思います。			
演目概要・演目選択理由	別添			
児童・生徒の参加又は体験の形態	本公演1部では体験コーナーとして、ダンサーと一緒に舞台上でバレエ独自のマイムを学習し、身体を使っての伝え方や言葉のないバレエでもストーリーが伝わることを体感していただけます。 第2部のくるみ割り人形では出演者の一員として衣裳を着用しプロのバレエダンサーと共演していただけます。未知の世界への体験となり大切な子供時代の思い出つくりになります。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	14人	
		鑑賞人数目安	～500人	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	第1部「舞台芸術ってなんだろう～バレエのふしぎを考えてみよう～」 構成・演出:今村博明 第2部「くるみ割り人形」学校巡回公演バージョン 原作:E.Tホフマン 作曲:P.Iチャイコフスキー 演出振付:今村博明 川口ゆり子 公演時間 分			
出演者	深沢祥子 山田美友 斉藤菜々美 土田明日香 柴田実樹 川口まり 伊藤可南 石原朱莉 村井鼓古露 亀田麻梨奈 鈴木愛澄 神谷麻依 阿部美雪 川口りさ 崎田奈月 井上麻子 窪田希菜 野口栄里花 井野美理 今井遥 井垣美穂 河村美希 橋本紗英 岩崎美花 西村まなつ 石本紗愛 坂本菜々 桐生幸歩 松本美樹 堀江結月 太田奈々 上村有咲 太田奈々 野上智世 亀田直子 長島楓花 大場愛美 今村夏乃 池田梨花 鎗田美滯 清水莉々咲 二神舞美 飯高安美 染谷野委 土方一生 藤島光太 石原稔己 秦野智成 バトムクンチンブリグ 岩瀬一秋 早川侑希 高坂美輝 卷孝明 鈴木諒 下村慶都			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	金平糖の女王:柴田実樹 王子:藤島光太 芸術監督:今村博明			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 37 名	運搬	積載量: 4 t	
	スタッフ: 23 名		車長: 8 m	
	合計: 60 名		台数: 2 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有		前日仕込み所要時間		3		時間程度	
	到着	仕込み		上演		内休憩		撤去		退出
	7時半	8時～10時		13時半～15時		10分		15時～16時半		17時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。										
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月		7月		8月		9月			
	0日		0日		0日		0日			
	10月		11月		12月		1月			
	15日		20日		10日		20日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		65日		
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) ※採択決定後、図面等の提出をお願いします。										
										
										
										
										
										
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否			該当なし			該当コンテンツ名			
	該当事項がある場合		権利者名		許諾確認状況					

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

【公演団体名 バレエシヤンプルウエスト 】

ワークショップのねらい	別添		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	～500人
ワークショップ実施形態及び内容	<p>標準:60分程度</p> <p>①解説者とバレエの練習用衣裳を着たダンサーが2～3名登場 バレエを初めて見る生徒さんが大多数だと思います。 解説者がバレエの歴史、特徴を解説しながらダンサーが実際にバレエの手、足の動きを見せることによって分かりやすくバレエの動きを理解できます。</p> <p>②普段バレエダンサーが毎日おこなうバーレソンを見せながら、動きの意味を解説者が解説します。非日常の動きがなぜバレエに必要なのか解説します。</p> <p>③バーレソンが終わると解説者が子供たちにダンサーと同じ動きをしてみましょと促します。 生徒自身の目と耳と体で感じる事ができるようにダンサーと一緒に体を動かしてみます。 バレエダンサーの日常的なレッスンの動きを体験することで基礎訓練の大事さを感じていただきます。 バレエは言葉がありません。それでもストーリーがなぜ伝わるのかマイム(手や身体の動き)の解説をしていきます。身体を使った伝え方でいつもと違った</p> <p>④実際に体を動かし、マイムの解説の後に本公演「くるみ割り人形」についての紹介映像を鑑賞します。アニメーションを使用した映像になりますので、分かりやすく見やすい映像でくるみ割り人形を解説していきます。</p> <p>⑤鑑賞後、本公演の「くるみ割り人形」の物語や歴史を解説し「くるみ割り人形」2幕に出てくる各国の踊りについて解説します。 実際にくるみ割り人形で使用されている曲を使用して各国の踊りをダンサーが踊ります。 本公演時の時に事前に学習したことをより身近に感じ鑑賞できるようにします。</p> <p>体操着又は動きやすい服装での参加が望ましいです。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>障害学級などでも障害の段階により、内容を調整致します。 障害により、完全なる暗転が難しい場合は薄明かりでの上演や音量の調整等も可能です。聾学校での公演の際は事前に聾学校へ上演プログラムの詳細を送り、手話での同時説明を行いました。 学校との細かな打ち合わせを行い学校に合った対応工夫を致します。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

バレエシヤンプルウエスト

】

①本事業に対する取り組み姿勢

別添え

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

今日までバレエ団設立より35年、バレエ団主催の定期公演を99回上演して参りました。団体所属のダンサーはオーディションで選ばれた70名あまりが在籍し、定期公演については客演ダンサーはほぼいません。バレエ団在籍のダンサーで上演しています。

団体主催で団体の地元である八王子市での学校訪問公演なども小規模ながら実施してきました。

平成25年度「こどものための芸術文化体験事業」、平成26年度29年度30年度令和元年度令和2年度令和3年度令和4年度令和5年度の「文化芸術による子供の育成総合事業」等の経験を通して体育館という限られた場所でも子供たちに舞台芸術の素晴らしさを伝えるためにバレエ団設立者の今村、川口の経験豊かな指導者がバレエの解説をしていきます。言葉のないバレエがどのように感動を伝えるのか、体で表現する素晴らしさを伝えます。

バレエ団設立時より在籍しているダンサーをはじめとし感受性豊かな若い在籍のダンサーを起用して舞台を構成します。

ベテランのダンサーが若いダンサーへ情報を共有し、厳しい条件の会場でも臨機応変に対応していきます。

学校との連絡を密にとり、行き違いが無いように細かな事でも確認を怠らず、現場での混乱が起きないように事前に準備を進めていきます。

スタッフは学校公演の経験が豊富なメンバーを主要とし、限られた空間でもクオリティを下げずに舞台芸術の世界観を体育館に創り上げていきます。

機材は必要最低限かつ質を下げないように選びトラック2台ですべての大道具、衣裳、機材を無駄なく積載しますので、条件が厳しい状況でも対応できます。

大道具は学校巡回公演専用のセットになり、いつでも公演ができる状態で保管されています。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	バレエシヤンプルウエスト 】
項目演目概要・演目選 扱理由	<p>第1部 「バレエってなんだろう～バレエのふしぎを考えてみよう～」 バレエがいつどこでどのようにはじまったのかから、なんでバーレッスンするの？なんでストレッチするの？なんでつま先で立つの？痛くないの？なんで喋らないの？生徒さんにバレエのなんでを質問します。バレエのなんでを解説し、バレエのふしぎについて学習できるようにしています。一方的に指導者の話をするのではなく、一緒に考えて一緒に身体を動かすことでバレエをより身近に感じていただけたと思います。</p> <p>・バレエのレッスン 通常バレエ団で毎日行っているレッスンを一部を見学します。 レッスン中はバレエの動きの解説が細かく入りますので、レッスンの動きの意味やレッスンの大切さについて知る事ができます。</p> <p>・マイム バレエは言葉を発しません。「マイム」というバレエ特融の動きによって会話することを解説しながらダンサーと一緒にマイムの動きを体験していただきます。体を使って相手に伝えるというコミュニケーションの方法を観ていただきます。 第2部のくるみ割り人形のみどころ、くるみ割り人形で使われるマイムの解説も交えながらくるみ割り人形がより深く分かりやすく楽しめるようにします</p> <p>第2部 「くるみ割り人形」は「白鳥の湖」「眠れる森の美女」と共にチャイコフスキー作曲の3大バレエとして今日に継承される名作です。 クリスマスイブにももらったくるみ割り人形とともに主人公のクララが雪の国やお菓子の国を旅するクララの夢物語ですが、その中に少女の優しい感性があふれる作品です。見どころはお菓子の国の各国の踊りです。それぞれのお国柄の踊りを楽しめ、耳なじみのある音楽が沢山あります。 ロシアで生まれた作品が海を渡りその後世界中のバレエ団で上演を重ね、多くの観客の支持を受け今日に至る歴史がその価値を実証するもので、継承された伝統芸術としてバレエの魅力をお伝えする事が出来ます。 バレエシヤンプルウエストでは1989年に初演し、33年間連続上演し好評を博す作品です。 今回は学校公演スペシャルバージョンとして解説を加えた演出で上演致します。</p>		

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.3	【公演団体名 バレエシャンプルウエスト】
ワークショップの ねらい	<p>なぜバレエには言葉やセリフがなくてもストーリーが分かるのか理解していただき、本公演でもマイムによってストーリーが進んでいくことがわかることを体験していけるようにします。</p> <p>自分自身で物語が読み取れるようになる事でバレエへの興味がより沸くようになります。</p> <p>言葉で伝える事と身体で伝える事の違いを感じ様々な伝え方があることを学ぶことができます。</p> <p>くるみ割り人形の曲はTVやCMなどで使用されている事も多くありますので、事前にくるみ割り人形の曲を聞いてもらい、本公演までにくるみ割り人形について興味をもっていただけるようにします。</p> <p>ワークショップに参加することでバレエに興味を沸き、バレエに参加したいという気持ちをもって、本公演に数名出演していただきます。</p> <p>舞台上でダンサーと共演して身体を使って伝える事を実践していただけます。</p> <p>お友達が舞台上で身体を使って伝えようとしているのを見て、どのように感じ、受け取ろうとするかも鑑賞している生徒さんの感受性を養う力となります。</p>	

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.4	【公演団体名 バレエシヤンプルウエスト】
本事業に対する取り組み 姿勢	<p>今日まで種々多彩なバレエ公演を主催する中で、芸術文化が青少年に与える影響とその必要性を強く感じます。特に本物に触れる機会提供する事、子どもたちの心に感動する機会を提供する事は芸術家としての責務であると共に、直接学校へ出向き子どもたちに寄り添い舞台芸術を身近に感じる機会を大切に思います。本事業が未来を担う子ども達の心に残るイベントとして存在することを念頭に取り組んでいきます。東日本大震災後に、バレエシヤンプルウエストは被災地での慰問公演を行い23都市27か所でミニバレエ公演を上演しました。学校を含む会場では被災者の方や生徒さんと身近に接し、会話する中でバレエを見て喜んで下さる姿に芸術の力を感じ、一人でも多くの若い世代に本物の芸術に触れて頂く時間の大切さを思いました。</p> <p>劇場に於いての若い世代へのバレエ鑑賞の機会提供に関しては、公益財団法人ニッセイ文化振興財団の依頼を受け日生劇場ファミリーフェスティバルに出演し、「くるみ割り人形」「おやゆび姫」を公演、鑑賞前の解説や、ワークショップを通してバレエに触れ合う機会を提供しました。2015にはニッセイ名作鑑賞教室では「 Coppélia」2018「くるみ割り人形」を上演し若い世代への芸術文化に触れる機会を提供いたしました。平成25年度「こどものための芸術文化体験事業」、平成26年度から令和5年度「文化芸術による子供の育成総合事業」では毎年継続して各地でバレエに初めて出会う子どもたちに鑑賞の機会を提供する事が出来ました。本格的なバレエ鑑賞は初めてだと言う教職員からの言葉に驚き、一層子供たちへの鑑賞の機会提供の必要を感じ、バレエの一層の振興の必要を感じました。</p> <p>このような出会いを通して、若い世代に真の芸術に触れる機会を提供することの意義を思い、生徒達が大人になる時に芸術文化に触れた経験が未来の芸術文化を受け継ぐ人材となるかもしれません。多くの子供たちが芸術に触れる機会を持つことで日本の芸術文化の向上にも繋がると考えます。</p> <p>また、文化は人の心の中に芽生え育つ普遍性を持つもので、継承されるものです。若い時代に上質の芸術に触れることで人は心に文化を育てていく事を自然体で受け止め、その力添えになる事を望んでいます。若い世代の心の成長にバレエが力になる事を実証し、この事業の意義に賛同し力を子どもたちの大きな未来の為に全力を尽くします。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 今日までバレエ団設立より35年、バレエ団主催の定期公演を97回上演して参りました。団体所属のダンサーはオーディションで選ばれた70名あまりが在籍し、定期公演については客演ダンサーは少なく、バレエ団在籍のダンサーで上演しています。</p> <p>団体主催で団体の地元である八王子市での学校訪問公演なども小規模ながら実施してきました。平成25年度「こどものための芸術文化体験事業」、平成26年度29年度30年度令和元年度令和2年度令和3年度令和4年度令和5年度の「文化芸術による子供の育成総合事業」等の経験を通して体育館という限られた場所でも子供たちに舞台芸術の素晴らしさを伝えるためにバレエ団設立者の今村、川口の経験豊かな指導者がバレエの解説をしていきます。言葉のないバレエがどのように感動を伝えるのか、体で表現する素晴らしさを伝えます。</p> <p>バレエ団設立時より在籍しているダンサーをはじめとし感受性豊かな若い籍のダンサーを起用して舞台を構成します。</p> <p>ベテランのダンサーが若いダンサーへ情報を共有し、厳しい条件の会場でも臨機応変に対応していきます。</p> <p>スタッフは学校公演の経験が豊富なメンバーを主要とし、限られた空間でもクオリティを下げずに舞台芸術の世界観を体育館に創り上げていきます。</p> <p>機材は必要最低限かつ質を下げないように選びトラック2台ですべての大道具、衣裳、機材を無駄なく積載しますので、条件が厳しい状況でも対応できます。</p>	